

一般質問

各会派で一般質問ができる回数は、年度初めに議会内で協議して決められます。今年度は、国民民主党議員会に与えられた5回のうち、6月と11月の2回、一般質問を行いました。皆様からいただいた陳情や、県政に対する疑問点、改善すべきと思うことについて質問しています。



東讃地域の県立高校統合について

志度高校・津田高校・石田高校の三つの県立高校を統合し、造田に新しく高校を作る計画が発表されましたが、高校がなくなることによる地域経済への影響や、同窓会や地域が支えてきた伝統が失われることを心配する声が上がっております。6月議会では、拙速に統合を進めるのではなく丁寧な話し合いの必要性を問いました。

その後、新しい高校の建設予定地を調査したところ、想定よりも軟弱地盤であることが判明したために、開校予定が2年遅れて令和12年4月になることが発表されました。

11月議会ではこのことを受けて、3万トン級の2つのため池に挟まれた予定地における安全確保と、同窓会や地域とのさらに丁寧な話し合いで信頼関係を築く必要性を問いました。

淀屋教育長の答弁では、安全については「必要な対策を行い万全を期す」とのことで、話し合いについては「引き続き、三校の同窓会、地権者、地元関係者への丁寧な説明とともに、地元の小・中学校やPTAなどと議論を深め、御理解と御協力をいただきながら準備を進める」との答弁でした。教育長は地域活力低下の不安があることは認識されているものの、地域経済への影響等についてまでは明確な見解を出されておられません。

河川の改修等について

弁天川や白川原大池から流れる河川など、浚渫や改修等の必要性がある河川がさぬき市内には複数ありますが、限られた予算の中では県内のさらに深刻な状態の河川を優先しなければならない状況です。近年豪雨災害が増えていることから、県内で予算の取り合いにならないように、何とか県全体として早急に対応できないものか池田知事に質問しました。



弁天川

知事の答弁は「弁天川のように河川整備計画が未確定のものは、緊急性の高いものから順次、河川整備計画を策定している」「河川の改修については国土強靱化関係予算などの活用により、できる限りの進捗を図ってゆく」とのことで、県民の安全に取り組んでいただいております。

国土強靱化関係予算とは、内閣官房国土強靱化推進室により、自然災害に強い国づくり・地域づくりをすすめるための予算で、令和5年度では4兆7千億円もの額になります。

東讃地域の救急医療について



東讃地域には二次救急医療機関である「県立白鳥病院」と「さぬき市民病院」があります。三次救急医療機関である救命救急センターは、高松市に「県立中央病院」、三木町に「香川大学医学部附属病院」、観音寺市に「三豊総合病院」がありますが、東讃地域にはありませんし、なかなか簡単に設置できるものではありません。

しかし香川県では令和4年4月からドクターヘリを導入しており、令和5年4月に岡山県とのドクターヘリの相互応援、6月に四国4県での相互応援に係る基本協定を締結しました。救命救急センターが無い東讃では、こうした協定をはじめドクターヘリの活用は



ドクターヘリ。総合防災訓練にて。

非常に重要ですが、円滑な相互応援等について質問しました。

知事の答弁は「ドクターヘリの運用について、相互応援マニュアルの整備、協定締結県との訓練などを実施し、効果的・円滑に相互応援ができるように取り組む。」「大川広域消防本部が徳島県のドクターヘリと合同で搬送訓練を実施している。」とのことで、ドクターヘリを活用した、救命救急センターがない東讃地域での救急医療体制の充実が期待されます。

経済委員会

令和5年度は経済委員会に所属しています。県の商工労働部、交流推進部、農政水産部等に関する事項を担当しています。

経済委員会の質問で取り上げた内容は「国が推進している『オーガニック・ビレッジ』への取り組みについて」「県産品の海外へ向けた販売拡大について」「企業誘致政策について」「オリーブハマチなど、オリーブの葉の活用について」等、農業、水産業をはじめ、さぬき市や県内の様々な産業や経済の活性化について取り上げました。次号以降で、その内容をお伝えしてまいります。

※「オーガニック・ビレッジ」とは、有機農業の生産から消費まで一貫して、地域ぐるみの取組を進める市町村のことで。



ミニ集会(県政報告と意見交換)について

市内各地でミニ集会を行っております。香川県政のことや三木由美子の活動のご報告とともに、意見交換会でいただいた皆様のお声を県政に届けてまいります。

